

DVDプロジェクター

Wizz

WPJ-D100

取扱説明書

© 2021 DAINICHI ELECTRONICS CO.,LTD.

目次

使用上の注意	2~3
ディスクについて	4~5
製品内容	5
各部の名称	5~7
三脚の使い方	6

準備する

リモコンを使う	7
ACアダプタを使う	8
本体起動方法	8
フォーカス(焦点)調整する	8

再生する

DVDを再生する	9
基本操作	9
ディスクメッセージ	9
ボタン操作について	10
再生/一時停止、停止、頭出し、早送り/早戻し、入力切替、音量+/-	10
消音、ランダム、情報表示、アングル、字幕	11
リピート、PBC、タイトル、メニュー、ABリピート	12
プログラム	13
スロー、設定、DVD、本体設定	14
戻る、画像反転、音声、数字入力、サーチ、ズーム	15

外部メモリーを再生する

外部メモリーの再生	16
外部メモリーボタン操作	17

設定する

DVDの設定画面について	18
本体設定画面について	19



外部端子

イヤホンを使用する	20
外部機器(AVケーブル)を接続する	20
外部機器(micro-SD)を接続する	20
外部機器(USB)を接続する	21
外部機器(HDMI)を接続する	21
外部機器(VGA)を接続する	21










その他








故障かな?と思ったら	22
お手入れについて、製品の廃棄について	22
主な仕様	23







使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 本体、ACアダプタについて

		火災・感電の原因となりますので、本体やACアダプタが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
		火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
		ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ずACアダプタを抜いてください。また、雷が鳴っているときは、本体、ACアダプタに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
		火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。水辺や雨天、降雪時の窓辺のご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因になります。	

		本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
		本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
		本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
		ACアダプタを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、ACアダプタを束ねたり、延長、固定、タコ足配線でご使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。ACアダプタが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
		本体を移動させるときは、ディスクを取り出し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
		リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。

 注意	 <small>禁止</small>	<p>通電中の本体や ACアダプタに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>本体や ACアダプタを、布や布団などでおおった状態でご使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因になることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。</p>
	 <small>分解禁止</small>	<p>分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>本体の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。直射日光の当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因になります。</p>

ディスクについて

●再生できるディスクについて

ディスクの種類

- 市販のDVD-VIDEO
- DVD-R/-RW (ファイナライズ済ディスク)
- CD-R/-RW
- DVD+R/+RW (ファイナライズ済ディスク)
- ビデオCD/音楽用CD

●CD/DVDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠のMP3音声トラック
- JPEG画像ファイル
- MPEG動画ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル、MPEG動画ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM*に対応しています。

- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。

*CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-rayディスク
- AVCHD記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- データDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした跡のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面を組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

●DVD、ビデオCD再生時の操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

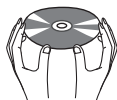
●リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「ALL」、または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



●ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因になります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因になり、再生できなくなる場合があります。

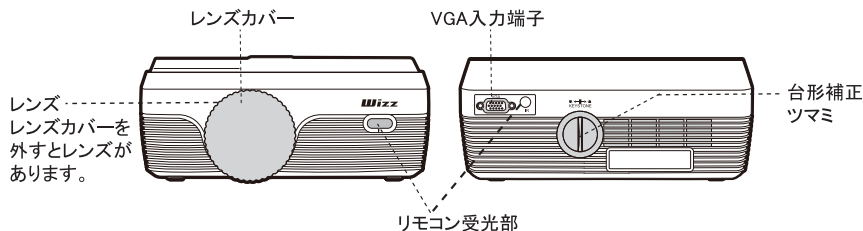


製品内容

- プロジェクタ本体
- リモコン
- AC電源アダプタ
- 三脚
- AVケーブル
- リモコン用単四形乾電池(試供品) 2本
- 取扱説明書兼保証書(本書)

各部の名称

●正面、背面部

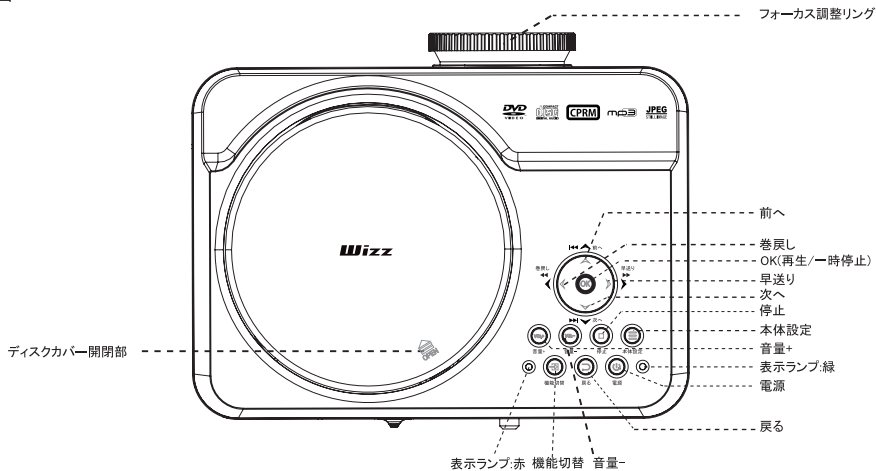


■ご注意ください

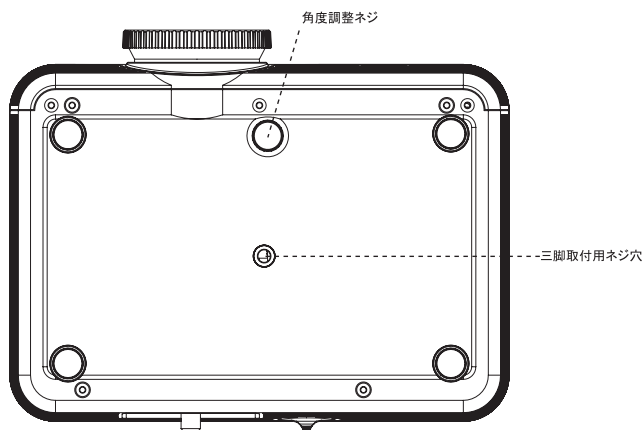
電源を入れた状態でレンズを覗き込まないでください。

各部の名称

●上面



●底面

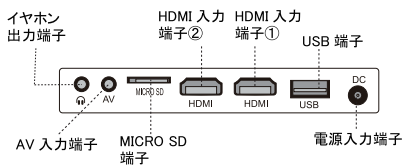


■ご注意ください

角度調整ネジについて

- ・角度の調整ができます。
- ・本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
- ・ネジ部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因になります。

●側面

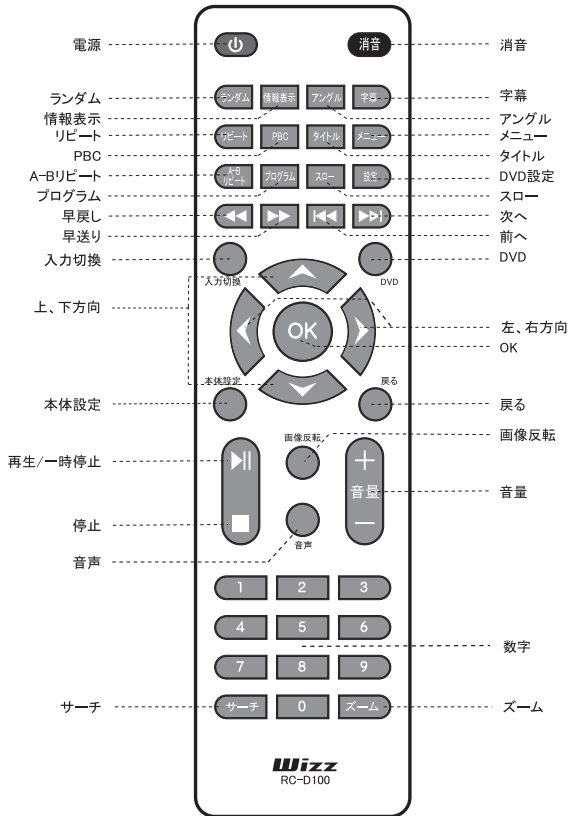


三脚の使い方

1. 三脚を左右に広げます。
 2. 高さを調節します。
 3. 三脚取付用ネジ穴に三脚を固定します。
- ※上記底面部参照

各部の名称

●リモコン



準備する

リモコンを使う



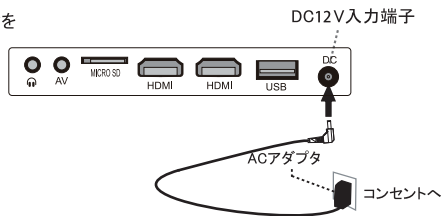
リモコン裏面のカバーを開けて、単四形乾電池2本を左図のとおりに入れ、カバーを閉めます。

■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右各30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- ・本体受信部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受信できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げ、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管をしないでください。
- ・乾電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。
このようなときは、乾電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理をしないでください。また他の機器には使用しないでください。
- ・付属の電池は試供品ですので、出来るだけ早く新しい電池に交換してください。

ACアダプタを使う

1. 本体のDC12V入力端子にACアダプタの出力ジャックを差し込みます。
2. ACアダプタをコンセントに差し込みます。左表示ランプが赤に点灯するまでお待ちください。



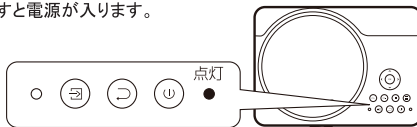
■ご注意ください

- ・付属品以外のACアダプタを使用した場合、故障や破損の原因となります。
- ・使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本体のDC12V入力端子に差したまま過度に衝撃を加えると破損する可能性があります。

本体起動方法

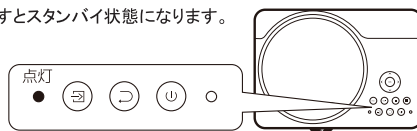
1. 本体またはリモコンの電源ボタンを押すと電源が入ります。

内蔵冷却FANが回転し始めます。
表示ランプ:緑が点灯します。



2. 本体またはリモコンの電源ボタンを押すとスタンバイ状態になります。

内蔵冷却FANが停止します。
表示ランプ:赤が点灯するまでお待ちください。



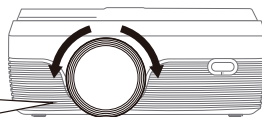
■ご注意ください

自動電源OFF機能について
本体の再生が停止の状態であればしばらく操作がないと自動で電源が切れてスタンバイの状態になります。

フォーカス(焦点)調整する

1. レンズのフォーカス調整リングを回して投影画像のフォーカス(焦点)を調整してください。

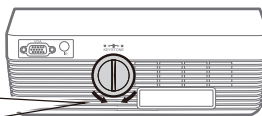
投影画像の文字等がぼやけていないか確認しながら調整します。



ゆっくり回してください。
可動範囲を超えて回さないでください。

2. 投影画像が台形になっている場合は台形補正つまみで調整してください。

投影画像の形状を確認しながら調整します。



左右各15°の範囲まで回せます。
可動範囲を超えて回さないでください。

※投影距離・投影画像サイズの数値例
アスペクト比 16:9の場合

投影距離(mm)	画像対角(mm)	画像幅(mm)	画像高さ(mm)	投影サイズ(inch)
1000	762	664	374	30
1500	1270	1107	623	50
3100	2540	2214	1245	100
3600	3048	2657	1494	120
4300	3810	3321	1868	150

上記の数値は目安です。使用環境等により異なることがあります。

DVDを再生する

●基本操作

1. 本体の電源を入れます。
2. 本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
3. ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時“カチッ”という音がするのを確認してください。
4. ディスクカバーを閉じます。
※ ディスク面が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュー画面が再生されないものがあります。
5. 決定(本体はOK)ボタン、または再生ボタン(▶II)を押すと再生が始まります。
ディスクによっては自動的に再生が始まります。

画面にDVDメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。

本体ボタンの操作以外にリモコンからの操作も可能です。
DVD再生中に使用できるボタン操作については、10～15ページをご覧ください。



■ご注意ください

- ・電源コードは、本体電源を切った状態で取り外してください。
- ・ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部が破損する原因となりますので、十分ご注意ください。
- ・操作中、“○”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ・ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ・ディスクカバーを無理に開いたり、強い力で扱うと破損の原因となります。
- ・ご購入後、最初に使用する時はDVDローダー部に取り付けられている保護紙を取り外してください。
- ・保護紙の下のDVDローダー用の白いケーブルを引っ張らないでください。DVD再生ができなくなります。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

- リージョンエラー
本機が再生できる地域(リージョン)“2”と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。
リージョンコード“2”、または、“ALL”以外のディスクは再生できません。
- パスワード(暗証番号)入力画面
ディスクによっては視聴制限を設けているものがあります。
本機で視聴制限レベルを設定したとき、ディスクとの視聴制限レベルと合わない場合に表示されます。
設定した暗証番号(初期パスワードは「0000」です)を入力することによって、ロックが解除されます。

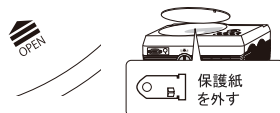
■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては、再生中、操作制限があつたり、再生できないディスクもあります。
- ・記録条件により再生できない場合があり、全てのディスク再生に対応しておりません。
再生できるディスクについてはP.4をご確認ください。

●ディスクをセットする

準備：電源を入れ、P.10の機能切替ボタンで設定するか、P.14のDVDボタンを押してDVDモードに切り替えます。

1. 本体の[ディスクカバー開閉部]を押してディスクカバーを開けます。
初めてご使用になる際はディスクトレーの保護紙を外してください。



2. ディスクを入れてディスクカバーを閉じます。
セットすると読み取りが始まり、読み取りが完了すると自動で再生が始まるか、メニュー画面が表示されます。

※ディスクを取り出す際は、回転が完全に止まってから取り出してください。



ボタン操作について

●再生/一時停止ボタン



ディスクの再生、場面や曲の一時停止に使用します。ディスク停止中にこのボタンを押すと再生を開始し、もう一度押すと一時停止します。一時停止中はディスクが回転しています。

●停止ボタン



停止ボタンを一度押すと、一時停止になります。二回押すと完全に停止します。レジューム機能を使用する場合は、停止ボタンで一時停止させ、電源を切ってください。

■ご注意ください

- レジューム機能が有効なのはDVD-Videoです。録画されたDVDやCDなど是对応しません。
- DVDディスクによっては、操作制限等があり、正常に動作しない場合があります。

●頭出し(次)/(前)ボタン



次のチャプターやトラックへ移動します。



前のチャプターやトラックへ移動します。

リモコン



■ご注意ください

- DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- シングルチャプター、シングルトラックのディスクは頭出し機能は使用できません。

●早送り/早戻しボタン



ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の倍速で早送り再生します。

2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 再生(等速)

リモコン



ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の倍速で早戻し再生します。

2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 再生(等速)

※通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

■ご注意ください

- DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- 早送り、早戻し中は音声出力されません。

●入力切替ボタン



各機能を切替ることが出来ます。
▲▼ボタンで項目を選択し、OKボタンで決定します。

入力切替画面

入力切替
DVD
HDMI
HDMI2
VGA
AV
USB
TF

●音量+/- (VOL+/-)ボタン



音量を調整します。

●消音ボタン(リモコンのみ)

消音

音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●ランダムボタン(リモコンのみ)

ランダム

再生中に押すとランダム再生のON/OFFが切り替わります。

●情報表示ボタン(リモコンのみ)

情報表示

このボタンを押すと、再生時間や残り時間等が表示されます。

■ DVDの場合

タイトル再生時間 → タイトル残り時間 → チャプター再生時間 → チャプター残り時間 → 表示オフ

■ 音楽CDの場合

シングル残り時間→トータル再生時間→トータル残り時間

●アングルボタン(リモコンのみ)

アングル

DVDディスクによっては、同時にいくつかの違うカメラアングルから撮影されたシーンが記録されている場合があります。これらのディスクでは同じ場面を違った角度から鑑賞することができます。VRモード(記録型ディスク)では動作しません。

■ご注意ください

- ・アングル機能がDVDディスクに記録されていなければ使用できません。
- ・対応するディスクはDVDディスクのパッケージや取扱説明書をご覧ください。

●字幕ボタン(リモコンのみ)

字幕

DVDディスクによっては字幕が記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、字幕の選択をしたり、非表示にします。(VRモード使用不可)

■ご注意ください

- ・この機能はDVDディスクに字幕情報が記録されていなければ使用できません。
- ・ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があり、再生中、この操作ができない場合があります。
- ・ディスクによっては、複数の言語が記録されている場合があります。

●リピートボタン (リモコンのみ)



特定のタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生することができます。

チャプター → タイトル → オール

■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては操作制限があり、この操作ができないものもあります。
- ・CDや音声、静止画は、記録状態によって、この操作ができない場合があります。

●PBCボタン(リモコンのみ)



再生中に押すとプレイバックコントロール専用メニューが表示されます。

●タイトルボタン (リモコンのみ)



このボタンを押すと、DVDのタイトル画面が表示されます。

ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。(VRモード使用不可)

●メニューボタン(リモコンのみ)



このボタンを押すと、DVDのメニュー画面が表示されます。

ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。(VRモード使用不可)

●ABリピートボタン(リモコンのみ)



設定範囲(AからBまで)を繰り返し視聴できます。

1. 映像や音楽を再生中、繰り返し見たいシーンや聴きたい位置で、リモコンの「ABリピート」ボタンを押し、画面上に“A”と表示させ、開始位置を設定します。
2. 終了位置で、もう一度「ABリピート」ボタンを押すと、画面上に“AB”と表示され、指定の範囲で繰り返し再生します。
3. 「ABリピート」ボタンを押すと、設定範囲をキャンセルできます。また、停止ボタンを押したり、電源が切れると、設定範囲がクリアされます。

■ご注意ください


- ・部分リピート再生は同一タイトル内で設定してください。
- ・部分リピート再生はマルチアングル部分では働きません。
- ・ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合もあります。


●プログラムボタン(リモコンのみ)

プログラム


チャプターやトラックの再生をお好みの順序に設定し再生します。


■ DVDの場合

01	TT:	CH:	06	TT:	CH:
02	TT:	CH:	07	TT:	CH:
03	TT:	CH:	08	TT:	CH:
04	TT:	CH:	09	TT:	CH:
05	TT:	CH:	10	TT:	CH:
終了					
					

- ・“TT”にタイトル番号、“CH”にチャプター番号を入力します。
- ・番号を入力すると、“終了”の右側に“スタート”が表示され、“スタート”を選択するとプログラム再生を開始します。
- ・“”ボタンで次のページに移動します。最大20登録できます。
- ・タイトル情報が無いなど、ディスクによっては下記「音楽CDの場合」の画面になることがあります。

■ 音楽CDの場合

01	--	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--
終了			
			

- ・“--”にトラック番号を入力します。
- ・番号を入力すると、“終了”の右側に“スタート”が表示され、“スタート”を選択するとプログラム再生を開始します。
- ・“”ボタンで次のページに移動します。最大20登録できます。

■ ご注意ください

- ・VRモードではプログラム再生できません。
- ・ディスクによっては制限がありプログラム再生できない場合があります。
- ・停止したり、電源を切ると、プログラム再生はリセットされます。再度設定してください。

●スローボタン（リモコンのみ）



ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記で速度で再生されます。
通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

▶【スロー】 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 【逆スロー】 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 再生

■ご注意ください

- スロー再生中は音声出力されません。
- 動画ファイル再生時は、[スロー]再生の動作となり、[逆スロー]の動作にはなりません。

●設定ボタン（リモコンのみ）



このボタンを押すと、本体の設定画面を表示します。
詳しくは、18ページをご覧ください。

●DVDボタン（リモコンのみ）



DVDモードに切替ります。

●本体設定ボタン



本体設定

リモコン

このボタンを押すと、本体の設定画面を表示します。
詳しくは、19ページをご覧ください

●戻るボタン



元の動作や表示に戻ります。

●画像反転ボタン (リモコンのみ)



再生中にボタンを押すと画面が反転します。

●音声ボタン (リモコンのみ)

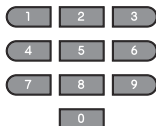


DVDディスクによっては音声、サウンドトラックが複数のチャンネルで記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、それらのチャンネルを切り替えることができます。VRモードで音声チャンネルを切り替える場合は「デュアルモノラル設定」(18ページ)をご覧ください。

■ご注意ください

- この機能はDVDディスクに音声情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があります。再生中、この操作ができない場合があります。

●数字入力ボタン (リモコンのみ)



チャプターやトラックなどをダイレクトに選択します。

●サーチボタン (リモコンのみ)



再生中にボタンを押し、表示された入力画面に従って数字を入力します。決定すると設定した場所にスキップして再生します。

●ズームボタン (リモコンのみ)



再生中にボタンを押すと、画面表示のサイズが切り替わります。

【ズーム】2× → 3× → 4× → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 元のサイズ
↑

外部メモリーを再生する

外部メモリーの再生

各端子にUSBメモリーまたはmicroSDを挿入し入力切替ボタンで各モードを選択します。

- 再生可能なファイル形式：
- * 静止画（拡張子）：JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
 - * 音楽（拡張子）：MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
 - * 動画（拡張子）：MP4(.mp4)/MPEG-PS(.mpeg.mpg)/WMV(.wmv)/3GP(.3gp)

注意 ※上記ファイル形式でも高画質(高解像度)データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない / 音が出力されない/読み込みできないなどが起こる場合があります。
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。

注意 ■本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
※本機では<FAT32形式>でフォーマットされた外部メモリーが使用可能です。

注意 ※外部メディア(USBメモリーやHDDなど)はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メモリー内のデータを再生する

① 本機のUSB端子にUSBメモリーまたはMICRO SD端子にmicroSDを挿入します。
右図の矢印の箇所に挿入してください。

② 本体またはリモコン「入力切替」で各モードに切り替えます。

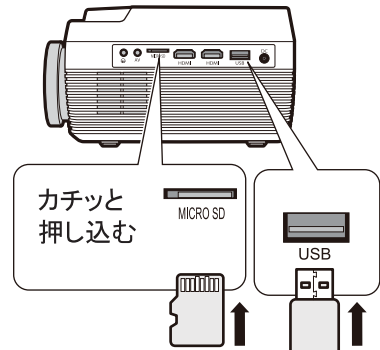
③ 各モードに画面を切り替えた後、「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「OK」で決定します

写真:静止画ファイル再生
音楽:音楽ファイル再生
動画:動画ファイル再生
テキスト:テキストファイル表示

④ 再生する項目を選択後「OK」を押すとデバイス項目に移動します。
(*選択項目:一つ前へ / [C])
[C]を選択して「OK」を押すと読込可能なデータ(またはフォルダ)が表示されます。

⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「OK」を押すと画面が切り替わり、再生がスタートします。

*再生を停止する場合は「停止(■)」ボタンを押してください。



外部メモリーボタン操作

データ再生中に「OK」(またはリモコン「情報表示」)を押すと、画面に<操作バー>が表示されます。操作一覧は以下の通りです。

<静止画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>:無→<1>:1ファイルリピート→<ALL>:全ファイルリピート
- 🎲 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- 📄 プレイリスト: 静止画(画像) ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🔄 90度右回転: 画像を90度右へ回転
- 🔄 90度左回転: 画像を90度左へ回転
- 🔍 拡大ズーム: 最大8倍拡大表示
- 🔍 縮小ズーム: 最小1/4倍縮小表示
- 👁️ ※Move View (※本機では使いません)
- ⚙️ 画面表示切替:【OK】を押すごとに切り替わり変更 ※標準/ランダム/ブロック/対角/ワイプ/スライド/フェード

<音楽ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ⏪ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32
- ⏩ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>:無→<1>:1ファイルリピート→<ALL>:全ファイルリピート
- ⏮️ A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし→【OK】:A地点セット→【決定】:B地点セット&リピート設定→セットなし
- 🎲 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- 🔇 消音ミュート設定 (=【消音】)
- 📄 プレイリスト: 音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定

<動画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ⏪ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32
- ⏩ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>:無→<1>:1ファイルリピート→<ALL>:全ファイルリピート
- 🎲 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- ⏮️ A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし→【OK】:A地点セット→【OK】:B地点セット&リピート設定→セットなし
- 📄 プレイリスト: 動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- ▶ スロー再生: 【OK】を押すごとにスロー再生&倍速切換え ※再生 / x2 / x4 / x8 / x16
- ▶▶ ステップ再生: 【OK】を押すごとにコマ送り再生
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定
- ⚙️ 画面表示サイズ切替:【OK】を押すごとに表示サイズ変更 ※自動 / 16:9 / 4:3

※操作バーを画面から消す場合は「戻る」ボタンを押します。

■ご注意ください

メディアプレーヤーソフトに関する説明ページに記載されている画面の画像や写真はイメージです。搭載しているソフトの改良やバージョン変更等によりデザインが違う場合などがございます。予めご了承ください。

DVDの設定について

リモコンの「設定ボタン」を押すと、DVDモードに関する設定画面が表示されます。
 ◀▶左右ボタンで「一般設定」「音声」「ビデオ」「初期設定」を選択して設定を行います。
 リモコンの「設定ボタン」または「戻る」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

●一般設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
画面表示		Wide	
アングルマーク		オン	
OSD言語		JPN	
スクリーンセーバー		オン	
ラストメモリー		オン	

画面表示(4:3PL/4:3LB/16:9)
 アングルマーク(オン/オフ)
 OSD言語(英語/日本語)
 スクリーンセーバー(オン/オフ)
 ラストメモリー(オン/オフ)

●サウンド設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
	デュアルモノラル ダイナミック		

デュアルモノラル(ステレオ/左モノラル/右モノラル/ミックスモノラル)
 ダイナミック(FULL~OFF)

●画面設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
鮮明度		低	
明るさ		00	
コントラスト		00	

鮮明度(高/中/低)
 明るさ(-20~+20)
 コントラスト(-16~+16)

●初期設定

一般設定	サウンド設定	画面設定	初期設定
TVタイプ		自動	
音声設定		JPN	
字幕設定		JPN	
ディスクメニュー		JPN	
視聴制限 パスワード			
初期化			

TVタイプ(NTSC/マルチ/PAL)
 音声設定(英語/日本語)
 字幕設定(英語/日本語/オフ)
 ディスクメニュー(英語/日本語)
 視聴制限(レベル1/G/PG/PG13/PGR/R/NC17/レベル8(アダルト))
 パスワード ※初期設定値は「0000」となります。
 初期化(リセットオン)

※再生等の停止を行った後に、本設定を行ってください。

■ご注意ください

- 各設定項目に対して緑のカーソルがある項目が選択されている項目です。茶色が現在決定している項目です。設定項目を確定する場合はOKボタンで決定してください。
- 初期設定については本機のシステム上重要な設定になります。DVD等の再生を停止した状態で行ってください。

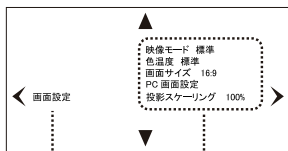
本体設定について

本体またはリモコンの「本体設定ボタン」を押すと、本体に関する設定画面が表示されます。

◀左右ボタンで「画面設定」「音声」「機器設定」を選択して設定を行います。

本体またはリモコンの「本体設定ボタン」または「戻る」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

●画面設定



メインメニュー サブメニュー / 現在の設定

映像モード(自動/ソフト/ユーザー/ダイナミック)

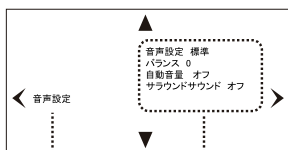
色温度(標準/ウォーム/ユーザー/クール)

画面サイズ(自動/4:3/16:9/ズーム1/ズーム2/Panorama)

PC画面設定

投影スケーリング(100%~75%)

●音声



メインメニュー サブメニュー / 現在の設定

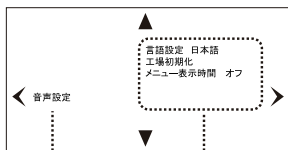
音声設定(標準/音楽/映画/スポーツ/ユーザー)

スピーカーバランス(-50~0~+50)

自動音量(オン/オフ)

サラウンドサウンド(オフ/SRSサラウンド/サラウンド)

●機器設定



メインメニュー サブメニュー / 現在の設定

言語設定(日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ポルトガル語)

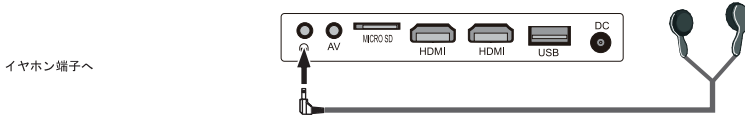
工場初期化(はい/いいえ)

メニュー表示時間(オフ/5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒)

イヤホン(別売)を使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。
※イヤホンまたはヘッドホンは別途ご購入ください。



■ご注意ください

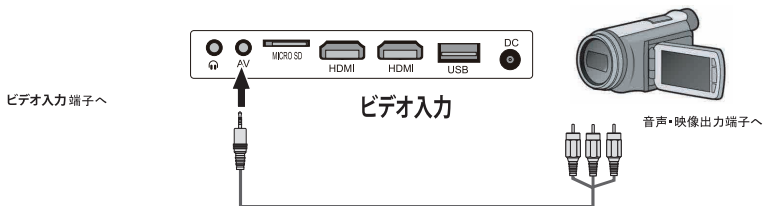
- ・お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ビデオ出力端子にAVケーブルを接続している場合はイヤホン端子に接続後再度音量を調整し、お楽しみ下さい。

外部機器(AVケーブル)を接続する

1. 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンで「AV」を選択し、OKボタンを押します。
2. 本機の左側のAV端子に、付属のAVケーブルを使用することで、音声・映像を入力することができます。

●接続方法

■音声・映像出力端子付きの再生機器



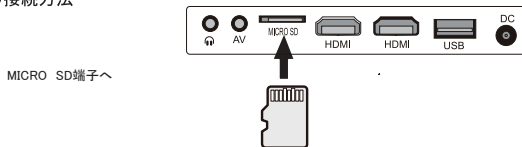
■ご注意ください

- ・外部機器と接続する際は、必ず本製品と外部機器の電源を切ってから行ってください。また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
- ・市販のケーブルは端子配置が異なる場合があります。追加でケーブルを購入する場合、販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

外部機器(MICRO SDスロット)を接続する

1. 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンで「TF」を選択し、OKボタンを押します。
2. 本機の左側のMICRO SDスロットに、micro-SDを挿入することで、音声・画像・動画を再生することが可能です。

●接続方法



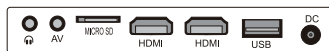
■ご注意ください

- ・micro-SDにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているMICRO SD端子は、micro-SDのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・micro-SDによっては対応しないものもあります。
- ・再生方法についてはP.16～17をご覧ください。ファイル作成方法などによっては再生が出来ない場合があります。

外部機器(USB)を接続する

1. 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンで「USB」を選択し、OKボタンを押します。
2. 本機の左側のUSBポートに、USBフラッシュメモリーを接続することで、音声・画像・動画を再生することが可能です。

●接続方法



- USBフラッシュメモリー
USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

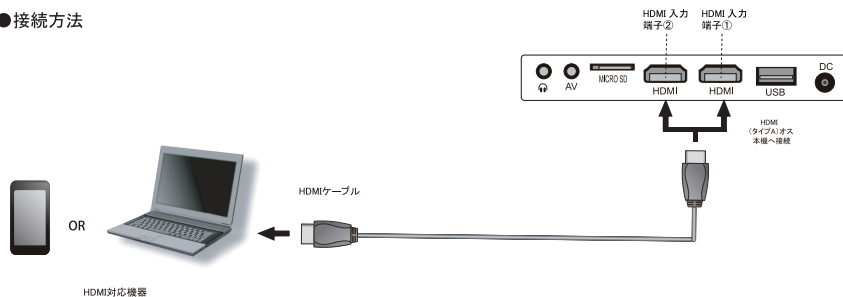
■ご注意ください

- ・USBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているUSBポートは、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・USBフラッシュメモリーによっては対応しないものもあります。
- ・再生方法についてはP.16～17をご覧ください。
ファイル作成方法などによっては再生が出来ない場合があります。

外部機器(HDMI)を接続する

1. 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンで「HDMI」①または②を選択し、OKボタンを押します。
2. 本機の左側面のHDMI入力端子に、他機のHDMI出力に接続することで、スマートフォンや他機器の映像と音声を再生することが可能です。

●接続方法



接続をする機器によりコネクタの形状が異なりますので接続する機器に合わせて、HDMIケーブルや変換アダプタを準備してください。

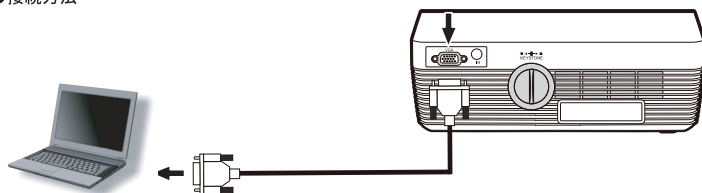
■ご注意ください

- ・表示される画面や音声は接続される機器やアダプタの動作や性能に依存します。
- ・2K、4K、3D等の再生には対応していません。
- ・PC等のHDMI出力と接続して拡張スクリーンとして、使用することが可能です。
その場合、設定をPC側で行ってください。(拡張設定や複製設定等)
- ・また接続する機器により表示できない場合があります。

外部機器(VGA)を接続する

1. 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンで「VGA」を選択し、OKボタンを押します。
2. 本機のVGA入力に、他機のVGA出力端子に接続することで、外部機器の映像を再生することが可能です。

●接続方法



故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	<ul style="list-style-type: none"> 設定ボタンを押して、「画面設定」の「映像信号方式」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。（→18ページ）
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 本体側、コンセント側ともに電源がしっかりと差し込まれているか確認してください。
再生できない / 投影されない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが中に入っているか確認してください。 機器が適切に接続されていることを確認してください。 ディスクの汚れ、傷を確認してください。 パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。（→4ページ） ディスクのリージョンコードが「ALL」または「2」か確認してください。 結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。 本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間をおいてからご使用ください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが汚れたり、傷ついてないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。 本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。
雑音や音声が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 機器が適切に接続されているか確認してください。 近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
ディスクに関するメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。 パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。（→4ページ） ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本機やテレビのボリューム（VOL）、消音機能を確認してください。 適切に接続されているか確認してください。 一時停止、早送り/早戻し、スロー、ステップ機能実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の向きを確認してください。 電池が消耗している場合は交換してください。 本機とリモコンの間に障害物がある場合は、機能しません。
動画ファイル、音声ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフト及びエンコード方法を変えて試してください。対応するファイル形式やエンコード方法に関する詳細内容はサポートできない場合があります。

お手入れについて

- **レンズのクリーニング**
 レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合はご自分でクリーニングしないでください。故障の原因となります。
- **結露**
 結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使い下さい。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。
- **本体のお手入れ方法**
 柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装が剥がれる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- **本製品は光ピックアップを本体に収納しています。この部品は高温高湿環境にて保存すると、部品の寿命が短くなる場合がありますので、高温高湿環境での保存は避けてください。**

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等各自自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

主な仕様

品番	WPJ-D100
品名	DVDプロジェクター
投影解像度	1280×720
ビデオファイル 最大解像度	1920×1080
アスペクト比	4:3/16:9
投影タイプ	1LED光源+4インチLCDディスプレイ
明るさ	70ANSI(3000ルーメン)
ランプ寿命	約2万時間(LED)
画面サイズ	30～150インチ
投影距離	約1.0～4.2m
フォーカス	手動調整
台形補正	手動調整
スピーカー	3W×2
対応ファイル	JPEG、MP3、MPEG1、MPEG2 ※その他の詳細はP.16を参照 MPEG4(DVD以外対応)
接続端子	USBポート×1、MICRO SDスロット×1、3.5mmフォンジャック×1 HDMI入力端子×2、VGA入力端子×1、AV入力端子(RCAピン)×1
電源	AC 100V 50-60Hz、DC 12V 4.5A
消費電力	約54W
本体サイズ	約235(W)×185(D)×100(H)mm
本体質量	約1.33kg
付属品	リモコン、AVケーブル、単4形乾電池×2 ACアダプタ、レンズキャップ、三脚、取扱説明書

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を

このような事は ありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ・その他の異常・故障がある。 	ご使用を 中止	<ul style="list-style-type: none"> ・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
--------------------	--	------------	--

【保証期間について】

- ◆ 下記保証範囲に基づき、保証書に記載されている期間の保証とさせていただきます。
なお、業務使用、もしくは弊社の判断において業務使用と認められた場合の保証期間は6ヶ月間とします。
- ◆ 保証期間が過ぎたものは、有料修理となります。
- ◆ 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- ◆ 補修用性能部品保有年数の目安は、製造終了から5年です。但し、保守部品の在庫状況により、修理ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ 保証期間内でも、次のような場合は、有料修理となります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書の所定事項(お客様名、ご購入店名等)のみ記入、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 火災、自然災害(地震、水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天変地異等)、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) お買い上げの後の輸送、移動時の落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷。
 - (5) 水、泥、砂などのかぶり方が原因で発生した故障および損傷。
 - (6) お取り扱い上の不注意、誤用、接続している他の機器に起因して発生した故障および損傷。
 - (7) 保管上の不備(高温多湿の場所など)や手入れの不備による故障。
 - (8) 不当な改造、調整、部品交換、誤接続による故障および損傷。
 - (9) その他、弊社の判断において、有料修理と認められる場合。

【保証範囲について】

本保証書は、日本国内において有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- ◆ なお次の事項に該当するものは、保証の責任を負わないものとします。
 - (1) 本製品の使用により発生した、本製品以外のお客様の財産等の損失、破損。
 - (2) 本製品を使用したことによって発生した、あらゆる結果やその他への影響、異常。
 - (3) お客様の改造による故障。
 - (4) 個別の記録メディアに対する相性問題、動作不良等。

ダイニチ電子株式会社